



JCLIFE

2020年
9月号

JCI 一般社団法人尾道青年会議所 <http://www.ojc.or.jp/> 〒722-0035 尾道市土堂2-10-3 尾道商工会議所ビル3F
TEL: 0848-20-1110 FAX: 0848-20-1112 E-mail: ojc@urban.ne.jp Facebook: <http://www.facebook.com/isojcnw>

定時総会

8月22日(土)、尾道ロイヤルホテルにて定時総会が開催されました。

総会では、第1号議案においては定款変更の議決がおこなわれ、多数の賛成をもって承認可決されました。次に第2号議案において2021年度理事長予定者に安楽城大作君が推荐され、多数の賛成をもって承認可決されました。そして3号議案においては2021年度監事数及び理事数が上程され、監事2名、理事長予定者含む理事18名が賛成多数により承認可決されました。第4号議案においては2021年度監事予定者として、今岡正英君及び高橋建太君が推薦され、多数の賛成をもって承認可決されました。

続いて理事選挙が行われ、厳正なる開票の結果、理事予定者18名が選出されました。次年度監事・理事の皆様、本当におめでとうございます。

(記事:村上直弘)



2021年度理事(18名)

2021年度監事(2名)



今岡 正英 君



高橋 建太 君

(50音順)

卒業生スピーチ



山北 眞也

皆様こんにちは。久しぶりにこうやって皆の前でお話をしますけれども、卒業生スピーチということでもせうかくなのでいろいろ思う所あるかもしれませんけれど、10年在籍した所を振り返りながらお話をさせて頂ければという風に思いますので、少し皆さんとお時間を共有させていただいて過ごさせていただければと思います。

まず入会させていただいた経緯ですが、JCCに父親が入っていたことも知っていましたし、子供のころからJCCという組織を知っていたのですが、自分が入るということは全く考えていませんでした。自分が今の会社に入る際にも、いつ入るとかも全く考えていなかったです。ただ、ある日突然、父親から入れという風に言われたので入ったという経緯があります。そういった経緯で入ったので周りの方々とほとんど知らなかったです。し、この中でどうやって行こうかという不安ばかりでした。仮入会員の時には、これだけ絶対に出なさいといわれているもの以外は、ほぼ例会や事業には出ていなかったと思います。ただ仮入会員の後半の方では、同期は8人いたのですがこのメンバーにすごく恵まれたなと思いましたし、何より配属先だった村上伸一先輩の実行委員長のときの委員会のメンバーが皆本当によくしてくださって、恩返しという言い意味合いも込めてでなきやいけないという風に思いながらやって出席していたのが平成23年の時期でした。

それを踏まえてやらなきゃという思いと、その当時のメンバーの中でこの人本当に楽しそうだなとか、この人ちょっとしゃべってみたいなという風に思える方がいっぱいいらっしゃいましたので、その人たちに近寄りたくて自分から歩みよっていったというか、そういうことを新入会員の時には一生懸命頑張ったと思いますし、そのお陰で今の自分があるんだと今改めて思っています。ぜひ新入会員とか若い子たちは、遠慮せずにもっともっとベテランと言われてる人たちに話しかけていって欲しいと思います。何も恥ずかしがる事はありません積極的に絡んで早く仲良くなってください。改めてこの10年間を振り返ってみても一番記憶に残っているのは、自分が委員長をやった時代だと思っています。また一番楽しかった年でもありません。理事長もさせてもらいましたが、それを踏まえても委員長時代が一番記憶に残っています。それはやった人にしかわからないものなのかなと思います、なのでぜひ委員長をやってほしいと思います。ただ委員長の時はつらいこともたくさんありました。委員長になつて初めて委員会を開いたときに、委員会メンバーにやりたいことを資料を添えて伝えたのですが、まあ委員会メンバーみんながなんだこれという感じで総スカンを食らいました。「これでどうするの」「見たいなことを言われて、その時はつらい時間でした。本当に今でも覚えています。ただ当時、美ノ上君が副委員長でいまして、私の愚痴などをよく聞いてもらったり、「それでも思ったことを一緒にやっつけよう」とか前向きな声をかけてもらえたので本当にその時は救われました。その結果、委員会の意見をしっかりと汲んだうえで、それでも自分が最初にやりたいと思っていたことを改めて伝えることで、みなさんがついてきてくれて、事業もある程度形になりましたし、その一年は本当に大変なことがたくさんありましたが、自分なりにやり切った感じと達成感を味わった良い年間を過ごさせて頂きました。

続いて、平成27年に副実行委員長、そして平成29年は専務理事をさせて頂きました。このそれぞれの1年間というのは、本当に楽しいメンバーばかりで、委員会と事務局は違いますが、すごく居心地がよくて楽をさせてもらったというか、楽しく過ごさせてもらいました。これこそがJCCだなと感じられる1年間でした。

か？楽しんでいきますか？私が思うにもっともっと楽しめるところがあると思います。理事長をさせて頂いてこうやって前の方から見させてもらうことがありますが、まだまだみんなな般にこもっているというか、ベテランにしても新入会員にしても、本当に楽しもうという気配があまり感じられないです。せつかなのでいいじゃないですか、別にハメを外すじゃないですけど、この後卒業生スピーチをする人たちがハメを外してもいいのではないかと思います。楽しければいいという人もいます。楽しいがすべてではないですが、でも基本楽しくないとやっている意味がないように思います。こうやって集まって、今日楽しいかどうかわかんけどとりあえず行こうって言うより、あいつらがいるから、楽しくなりそうだから行こうとか言うように、そういう楽しみの感情をもつて行く方が、実りがあるように思います。最近はそのような感情を持って例会や事業にきている人があまりないように感じます。これからこの尾道青年会議所を背負っていく方達には、何回も言いますが、是非楽しみなが何事もやっつけてほしいです。それだけを心掛けて欲しいってほしいです。型にハマりすぎというよりはちょっと少し自分らしさを出しながらやっつけていく方が、皆さんの為になると思っています。こんな事を歴代理事長が言うのも変かもしれませんが、そもそもこの尾道青年会議所は、県内の他のLOMに比べて緩い部分があります。そこが尾道青年会議所らしさだと思いますし良いところだと思っています。いわゆる長所の部分なのでここを伸ばしていくべきだと常々思っています。そういう活気をもって活動していくという事が今後の皆さんに必ず繋がって行きます。今年先頭に立ち活動されている加度理事長もそうですし、来年を任される、安楽城理事長予定者もおそらくそう感じていると思います。その想いに応える事ができるのは皆さんですから、とりあえずのその場のぎで過ぐすのが本当にいいのかわかんないから楽しんでいながらみんなで盛り上がりながらやる方がいいのか、少し考えればどうやっていくべき

なのかは自ずとわかってくると思っています。是非、私からの言葉はこれからの活動をする上で重要だと思いますので、しっかりと考えて行動して頂ければ幸いです。

さて、大西委員長の時を飛ばしてしまいましたが、全く記憶に残っていないという訳ではなく、この1年間は、現役生活で唯一、役を持っていない年でした。委員として所属させてもらったのですが、この時にすこいなと思っていたことがありまして、当時大西委員長がゴルフ松本さんを呼んで講演会をやったのですが、その直後に委員会が集まった時に「お疲れ様でした」というセリフと同時に涙を流していました。私が理事長の時に「涙を流せるような事業をしよう」といったのですが、茶化した意味ではなくて、人間としてそれくらい苦労したときに初めて涙が出るものなんだと思います。大人になって涙を流すほど苦労するというのはJCCでしか経験できない事です。だから委員長をやるべきだいう事ではないのですが、そういう一生懸命やった事というのは、その人の財産に必ずなるので、是非そういった経験を皆さんにもしてほしいと思います。よくこのスピーチの場で理事を経験してほしいとか、理事をされない方が、理事をやったらよかったですと発言される事がよくありますが、私も同じ様に皆さんには理事をやった方がいいと思っています。間違いないです。ただいろいろな事情で出来ない方もいらっしゃると思いますので、そういう方には、この二年間自分なりに精一杯やった、この委員長の力になる為に自分の持っている力を出しつくしたなど、なんでもいいて自分の中のものを全て出し切る。そういう1年間は是非、皆さんのJCC生活の中で持つてもらいたい。そういう時間を過ごさずには自分自身がより成長できる何か必ずあるはずなんです。そういう場というのはJCCに所属しているからあるものなんだと思います。おそらく過去の卒業生スピーチでこういった発言をされている方は、この事に気付いているからその発言なんだと思います。せつかくこの青年会議所の門戸をくぐったのなら理事をやりたい。でも出

来ないのであれば、そういう充実した1年間を、自分なりに精一杯やったと誇れる1年間を作った欲しい、そしてその事を是非皆さんにもこの卒業生スピーチという場で語って欲しいと思います。

少しいろんな話をしましたけれども、この10年間いろんな役をやらせていただいた事に本当に感謝しています。こうやって皆さんとのご縁ができた事、そして友情を育めたという事、本当に感謝しかありません。残り数ヶ月ですけれども、精一杯、私なりにこのJIC生活を楽しみながら、皆さんと共有できる時間を大切にしながら過ごしてまいりたいと思います。本当に10年間いろいろとありがとうございました。そしてお世話になりました。



吉原 敏 兼

あらためまして皆さんこんにちは。私もとうとう卒業生スピーチを迎える40歳になってしまいました。先ほど山北さんもおっしゃって

ましたが私も約10年、この

青年会議所に在籍させていただきました。約10年間で、大きく僕の中でLOM歴を見て、3つのお話をさせていただきます。まずは、平成22年から25年の間の俗に言う委員会メンバーとして青年会議所の活動をさせていただきました時期と、平成26年から平成30年までの理事を経験させていただいた非常に濃い時期と、去年と今年この理事を経験した上での委員会メンバーとしての時期をお話しさせていただきます。こうかと思えます。まず初めにですが、今日9月卒業生スピーチが始まりましたけど、今日から仮入会員の方々が来られているのでしょうか？多分、来られているのだと思うので、簡単に自己紹介の方からさせていただきます。こうかなと思います。私は向島の方では医療グループの薬剤師として、医療介護福祉の仕事に専門にさせていただいております。尾道に帰ってきたのが15年前に帰ってきて、初めの3年間くらいは病院の中で薬剤師として働いていま

した。そんな中、川原浩太さんが同じマンションに住んでいることもあり、また英数学館の先輩でもありまして、JICに入らないのかというようなお誘いをいただいた記憶が僕の中ではあります。その時の拡大委員長が、英数学館の先輩である麻生裕雄先輩でして、当時いきなり浩太さんに電話でとある所に来いと言われて、何があるのか分からないまま麻生先輩のもとへ行った記憶があります。その場所でJICに入会してみないかというお話をいただき、その場で即決したかは分からないですけど翌日か翌々日くらいに入会させていただきました。翌日か翌々日くらいに入会させていただきました。入会当初、採め事を起こしてしまっただけで、話は差し控えていたのだと思います。翌年、平成23年、24年、25年と委員会メンバーとして活動させていただきました。私自身JICというものがどんなものかさっぱりで、父ですが家庭内で入会しているものがないだったので、とにかく入会することを極力心がけて、ある程度の会には3年間で参加させていただいた記憶があります。その中でも、この3年間で委員会メンバーとして一番思い出があるのは、平成24年の広島ブロックの総務委員会の委員として出向させていただいた中で、不祥事を2回起こしております。両方ともお酒の席で多大なる迷惑をおかけしております。その中でも、世界会議が台湾でありまして、当時のブロック委員長でもありました坂本先輩と幹事の片岡先輩と私の3人で台湾にて広島県のブース出店をするというお話があつて、坂本先輩の方から手伝いに来てくれというお話があり、行くことになりました。広島県のブース出店をするにあたって広島県内の地酒を持って行くという事で台湾の方にキャリーバッグにお酒を詰めて行きました。広島空港の検疫所でお酒を持ち込める制限があるので一人何本まで持ち込めたかは覚えてないのですが、トータルで50本以上ある本数をメンバーのキャリーバックの中に小分

けて持つて行った記憶があります。その持つて行ったお酒を世界のJICメンバーに振舞って、無事成功することが出来ました。しかしお酒が多少残ってしまった、みんなで残ったお酒を飲んで帰ろうという事になりました。そこで私が1升瓶を2本持たされて一気飲みをしたところ、そこまでの記憶はありませんが、そのあとの記憶が全く無く、後日、先輩方に話を聞いたところ台湾の地下鉄の電車内で嘔吐をしながら帰ったとのことでした。その写真を持つている方々は速やかに提出していただきました。

その後、平成26年から平成30年は理事をさせていただいた時期でした。平成26年の時にセクレタリー、平成27年の時に委員長、平成28年と平成29年は副委員長、平成30年は実行委員長をさせていただきました。先ほど山北さんのスピーチでは委員長の時が一番記憶に残っていると聞いていましたが、私も記憶に確かに残っているのですが、委員長としての思い出と言えれば苦悩と挫折の日々でした。なかなか自分の思い描いた事業というものが出来ず色々な方々、委員会メンバーの方や、理事、先輩の方々にアドバイスをいただき事業をすることが出来たのですが、本当にこれで良かったのかなと今でも考えさせられるところがあります。そういう所から委員長としての思い出は先ほども言ったのですが苦悩と挫折、本当に思い返したくもないような日々を送っていました。そして翌年の委員会配属の中で当時、今岡委員長での拡大委員会の年で、自分はこのままJICを続けていいのかと悩んだ時期でもありました。なので、委員会や事業には参加していましたが、自分自身ナーバスになっていた時期でもあり、いつのタイミングでやめようかなとか、このままJICにいてもいいのかとかずっと思っていました。そんな中とある先輩と食事をしてる時に言っていたのは、辞めることは簡単だけど続けることが難しいのではないかと、という風に言われ、お前は簡単な方に逃げるのかと言っていた

その出来事が3年の委員会メンバーとしての一番の思い出です。

その後、平成26年から平成30年は理事をさせていただいた時期でした。平成26年の時にセクレタリー、平成27年の時に委員長、平成28年と平成29年は副委員長、平成30年は実行委員長をさせていただきました。先ほど山北さんのスピーチでは委員長の時が一番記憶に残っていると聞いていましたが、私も記憶に確かに残っているのですが、委員長としての思い出と言えれば苦悩と挫折の日々でした。なかなか自分の思い描いた事業というものが出来ず色々な方々、委員会メンバーの方や、理事、先輩の方々にアドバイスをいただき事業をすることが出来たのですが、本当にこれで良かったのかなと今でも考えさせられるところがあります。そういう所から委員長としての思い出は先ほども言ったのですが苦悩と挫折、本当に思い返したくもないような日々を送っていました。そして翌年の委員会配属の中で当時、今岡委員長での拡大委員会の年で、自分はこのままJICを続けていいのかと悩んだ時期でもありました。なので、委員会や事業には参加していましたが、自分自身ナーバスになっていた時期でもあり、いつのタイミングでやめようかなとか、このままJICにいてもいいのかとかずっと思っていました。そんな中とある先輩と食事をしてる時に言っていたのは、辞めることは簡単だけど続けることが難しいのではないかと、という風に言われ、お前は簡単な方に逃げるのかと言っていた

理事を経験したからには何か現役のメンバーに対して、還元できることが僕でもあるのではないかと思つたのですが、中々現役メンバーに思いを伝えることが出来なかつたのではないかと今思っております。ただ、この10年間を通して振り返ってみると比較的僕はある程度青年会議所の事業に困難はありましたが、参加をしていきたいと思います。極力参加するように心がけていきたいと思います。頑張ろうと思つていました。せつかく会に入つたのであれば何かしら得るものはあるのではないかと、思つて10年間、会に極力出席するようにしていました。今ここにおられる方々は今日来られているわけですから問題なく今後も出席されると思っております。しかし、今日来られていない方々が会に出席できるように、アフターだけでも参加できるように楽しい会を印象つけてくれたら、何かしら会に出席できるきっかけになるのではないかなと思っております。

とりとめの話となりましたが以上で私の卒業生スピーチを終了いたします。10年間どうもありがとうございました。

記憶があります。その言葉を聞いて、私自身逃げることは嫌でしたが、やはりこのまま続けたらJICのみんなに迷惑をかけてしまうのではないかと、ということも考えてしまいましたが、その先輩からそんな中でも続ける厳しさを経験した方が良いと言われ続けてなんとかその年を終え、翌年に再度副委員長として理事を経験させていただきましたこととなりました。そして、平成30年には実行委員長という役をやらせていただきました。その事業は、広島ブロック協議会の交流を図るゴルフ大会なのですが、その年は尾道が主管となる事業で、当時、歌副実行委員長と岡本副実行委員長と二緒に歌さんの会社の方にて色々話し合った記憶があります。そして、残り2年間ですけど理事を経験した上で、2年間は委員会メンバーとして在籍させていただきました。

